

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

| | | | | | | |
|-------|--------|---|----|---|--------|-----------------|
| 一般会計 | | | | | 事務事業分類 | D 建設・整備事業 |
| 事務事業名 | 草尾南野田線 | | | | シート番号 | 019-048 |
| 担当部署名 | 建設 | 局 | 道路 | 部 | 道路計画 | 課 評価責任者(課長名) 柿本 |

Ⅰ. 基本情報

| | | | | | | |
|------|---------|---|--|---|----------------------------|-------------|
| 基本情報 | 1 | 堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け | 政策 | 6 | まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます | 後期実施計画の位置付け |
| | | | 施策 | 3 | 利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成 | 有 |
| | 2 | 事業開始年度 | 平成 14 年度 | | 終了(予定)年度 | 令和 2 年度 |
| | 3 | 根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等) | 都市計画法、道路法 | | | |
| | 4 | 関連計画 | 堺市都市計画道路整備プログラム、堺市都市計画マスタープラン、堺市地域防災計画、震災に強いまちづくり基本計画、堺市緑の基本計画 | | | |
| 5 | 事業実施の経緯 | 当該地域は、南海高野線北野田駅や学校等の施設もあり歩行者が非常に多い地域であるが、幹線道路がなく通過車両が生活道路へ流入し、歩行者の安全確保が困難となっている。また、地域の防災上の避難路として、安全・防災等に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。 | | | | |

Ⅱ. 事業概要

| | | | | | | |
|------|--------------|--|--|--|--|--|
| 事業概要 | 6 | 事業の実施主体(誰が実施しているのか。) | <input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 () | | | |
| | 7 | 事業の対象(誰を、何を対象としているのか) | 道路利用者・災害時における避難者・被災者 | | | |
| | 8 | 事業の目的(どのような状況にしたいのか) | 国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 | | | |
| | 9 | 事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど) | 都市計画決定: 昭和40年7月29日 事業認可: 平成26年5月28日~令和3年3月31日 事業区間: 東区草尾~東区西野 路線延長: L=723m 道路幅員: W=18m 車線数: 2車線 令和元年度は、用地取得及び支障物件調査等を実施 | | | |
| 10 | 直接実施以外の主な支出先 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | | 業務の受注者 | | | | |

Ⅲ. 投入量

| 事業コスト | 項目 | 単位 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 |
|--|---------------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 11 | 事業費 (a) | 千円 | 65,620 | 98,044 | 9,220 | 103,146 | 21,800 | 49,703 | 28,407 |
| | 主 な 事 業 費 内 訳 | | | | | | | | |
| | 工事費 | 千円 | 1,750 | 891 | 1,750 | | 300 | 0 | 2,300 |
| | 用地費 | 千円 | 58,000 | 90,919 | | 99,882 | | 46,243 | 14,967 |
| | 委託費他 | 千円 | 5,870 | 6,234 | 7,470 | 3,264 | 21,500 | 3,460 | 11,140 |
| | 財 源 内 訳 | | | | | | | | |
| | 国・府支出金 | 千円 | 33,550 | 50,000 | 2,300 | 49,700 | 9,950 | 23,009 | 10,983 |
| 受 益 者 負 担 金 (使 用 料 、 手 数 料 等) | 千円 | | | | | | | | |
| 市債 | 千円 | 24,700 | 36,800 | 2,000 | 45,100 | 8,800 | 20,700 | 9,800 | |
| 其 他 () | 千円 | | | | | | | | |
| 一 般 財 源 | 千円 | 7,370 | 11,244 | 4,920 | 8,346 | 3,050 | 5,994 | 7,624 | |
| 12 | 人件費 (b) | 千円 | 6,846 | 5,206 | 6,846 | 6,586 | 6,296 | 6,296 | 6,111 |
| 13 | 総コスト(c)=(a)+(b) | 千円 | 72,466 | 103,250 | 16,066 | 109,732 | 28,096 | 55,999 | 34,518 |

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

| | | | |
|-------|--------|-------|---------|
| 事務事業名 | 草尾南野田線 | シート番号 | 019-048 |
|-------|--------|-------|---------|

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

| 令和元年度実績 | | | | | | | | |
|---------|--|-----------|--|--------|--------|-------|-------|----|
| 活動実績と成果 | 平成14年度から着手している草尾南野田線事業について、令和元年度は用地取得並びに支障物件調査等を実施するとともに、供用開始に向けた関係機関協議を行い事業を推進した。 [事業進捗] (用地取得状況) ○土地所有者と鋭意交渉を行った結果、用地取得ができた。 ・用地取得率: 75.5% ○用地取得に必要な支障物件調査等の作業を行った。 | | | | | | | |
| | 14 | 指標名【活動指標】 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | 15 | 用地買収率 | 目標値 | | | 48 | 80 |
| | | | | 実績値 | | | 76 | |
| | | | | 達成率 | | | 158% | |
| | 評価 | | | | | 大変良い | | |
| | 算出方法・設定根拠など | | 用地買収率 = 買収面積 / 買収予定面積(事業用地)、本指標は令和元年度から開始、事業認可の延伸を予定 | | | | | |
| | 16 | 指標名【活動指標】 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | | | 目標値 | | | | | |
| | | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成率 | | | | | |
| | 評価 | | | | | | | |

事業の効率性

| 区分 | | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|----------------|---------------------|----------------|--------|-------|
| 17 | ① | 用地買収面積 | m ² | | 0 |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | 0 |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | |
| 区分 | | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 18 | ① | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | 千円 | | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | 円/単位 | | |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | |

業績の分析

| | |
|----|--|
| 19 | 目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) |
| | ○用地取得において、土地所有者と鋭意協議を行った結果、用地取得率を伸ばすことができた。 |

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうだったか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

| | | | |
|-------|--------|-------|---------|
| 事務事業名 | 草尾南野田線 | シート番号 | 019-048 |
|-------|--------|-------|---------|

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

| | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|---|---|
| コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性） | 20 | 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 | 事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない | 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられている。 |
| | 21 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 | 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない | 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。 |
| | 22 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 | コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない | 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられている。 |
| | 23 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。 | 事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている | 改善する場合は改善策、その他は理由 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。 |
| | 24 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 | 効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部署との適切な連携・役割分担 関係部署名 (用地第一課) 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 () | 理由・説明 ③用地部と連携し、情報共有しながら、計画的かつ効率的に事業を実施している。 ④財源に国交省からの交付金を充当している。 ⑤都市計画道路整備プログラムに基づき整備しており、サービス水準は同程度である。 |
| 25 | これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 | 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大 | 実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 | |
| | | 所 一部の用地交渉が難航しているため、事業認可の延伸が必要になっている。土地所有者と鋭意協議を行い、収用も視野に入れた早期の用地取得に推進し、出来る限り早期に道路築造工事に着手する。 | | |